

第2学年 技術 年間指導計画

1 教科目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 評価の観点

生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術について関心をもち，技術の在り方や活用の仕方等に関する課題の解決のために，主体的に技術を評価し活用しようとする。	エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見つけるとともに，その解決のために工夫し創造して，技術を評価し活用している。	エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	エネルギー変換，生物育成及び情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付け，技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。

3 評価基準（100点満点）

方法	観点 生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術につい ての知識・理解	合計
定期試験		15	10	25	50
提出物	10				10
授業態度・授業振り返り	10				10
作品	5	10	15		30
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「新しい技術・家庭 技術分野」（東京書籍）

5 年間学習計画（計35時間）

学期	月	単元名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法
1	4	◎生物育成に関する技術・・・(1)				
		・生物の育成環境と育成技術	・生物育成の条件と環境の管理方法を知る。	2	・生物育成の条件と環境の管理方法を知ることができる。(理解)	学習ノート
	5	・生物育成の技術を利用した栽培(ナスの栽培)	・目的とする植物の栽培計画を立て，栽培する。	2	・生物育成に関する技術の適切な評価と活用を考えることができる。(関心)	行動観察 学習ノート
	6		・生物育成の手入れをする。	3	・目的とする植物の栽培計画を立て，栽培することができる。(技能) ・体験活動を通して，生物育成の手入れをすることができる。(技能) ・育成技術を適切に活用しようとしている。(工夫)	学習ノート 栽培記録 手入れ 行動観察
	7		◎情報に関する技術 ・デジタル作品の設計・製作(栽培記録の管理)	・多彩なメディアを複合し，表現や発信する。	2	・メディアの特徴と利用方法を知る。 ・多彩なメディアを複合し，表現や発信ができる。
		★言語活動 考えたことをまとめる。			・生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。	テスト学習 ノート
		★言語活動 考えたことを発表する。				
	期末テスト		1		テスト	

2	9	◎エネルギー変換に関する技術 ・・・(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換方法や力の伝達の仕組みを知る。 ・製作品に必要な機能と構造を選択し、設計する。 ・製作品の組立・調整や電気回路の配線と点検する。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換方法や力の伝達の仕組みを知ることができる。(知識) ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。(工夫) ・製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。(工夫) ・製作品の組立・調整や電気回路の配線と点検ができる。(技能) ・工具の使い方が理解できる。(配線・はんだ付け・配線・点検・調整) (技能) ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。(工夫) 	<ul style="list-style-type: none"> テスト 学習ノート 学習ノート 学習ノート 行動観察 行動観察 テスト 学習ノート 					
	10	・エネルギー変換機器の仕組みと保守点検 ※(1), (2)は, 同時進行で行う									
	11	◎エネルギー変換に関する技術 ・中間テスト ・電気製品づくり									
	12	★言語活動 考えたことを発表する。 期末テスト									
	3	1					◎情報に関する技術 情報通信ネットワークと情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。 ・著作権や発信した情報に対する責任を知り, 情報モラルに配慮する 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知ることができる。(知識) ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みが理解できる。(理解) ・著作権や発信した情報に対する責任を知り, 情報モラルに配慮することができる。 ・情報に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。(工夫) ・レポートをまとめることができる。 ・習得した知識・技能を生活に活かすことができる。(工夫) 	<ul style="list-style-type: none"> 学習ノート テスト 学習ノート テスト 発表 プリント テスト レポート
		2					情報ネットワーク				
		3					情報モラル				
							年間のまとめ				
							期末テスト				